磯津通信

磯津環境学校
編集・発行
萩森　繁樹
〒510-0863
磯津南町2839
野田之一さん気付

兄弟船の良男さん

明るい漁師！

平松良男さん（昭和11年のまれ、77歳）と初めて顔を合わせたのは昨秋岐阜の山奥に植林をしに行くバスの中でした。陽気で、初対面の私にも声をかけ楽しい話の中に入れて下さいました。

それ以来、一度漁の話を聞きたいと言う思いが今回実現しました。もう60年も漁師をしてみえます。良男さんは一人で漁に出ます。その舟の名は「良神丸」弟の一市さんも船を持っていて「良栄丸」オヤジさんが付けてくれた名前です。オヤジさんの名は「良吉」ウフフ納得！神の加護のもと息子たちに栄える漁をとね、きっと。

河口堰の影響大

漁は底引きで、桑名の沖に出るのだそうです。エビ、シャク、カニ、カレイなどをとります。この頃はまるっきりおらんと言います。シラエビ（キロ700円ぐらい）がとれるけど、3万円ぐらい（燃料費が1万円かかるから）もうけは薄い。朝は3時頃出て、昼はパン。この頃は歳もとったので漁には週１～２回しか出ない。

長良川河口堰ができた影響は大きいと言います。雨水が下がってこん。（森の栄養が海に届きにくくなったと言うことでしょうか）ガンサやシャクがよくわいたもんやがこの頃は全然。セントレアの影響は？あそこまでは行かんで分からん。区域が決まっていて、あっちは愛知県の者が漁に来る。はみ出していくと保安庁に捕まる。罰金が２０～３０万もとられると割が合わん。しかし、魚はそんなこと関係ないでな。

一人で危なくない

バッチの船団に乗せていただいたときはみんなでの共同作業で、それはそれで力仕事で大変だとよく分かったのですが、それを一人でこなしている良男さん。７７歳とは思えぬ若々しさと笑顔の似合う人だけれど、なんぼ伊勢湾内とはいえ危険なことは無いの？船から落ちたことある？なんて私が聞くもんだから、良男さんはきっと呆れていたでしょうね。そんなことになったら生きては帰って来れない。

木造船の頃、季節風でこわい目に遭ったらしい。今はレーダーから魚探、何から何まで積んでいる。二人の息子は河原田に住んで後は継がない。弟一市さんと兄弟船で漁に出ているんだ。ところで、伊勢湾の潮の流れって北から南なの？いや、一定じゃない。四日市の前の海はヘドロだけで何も獲れないの？いや、底で獲れるもんおる。

いろいろ聞いてる間も良男さんの手は休まらない。底引き網のロープの手入れに余念が無い。

楽しみ、これから

今は何が楽しみ？相撲と水戸黄門。水戸黄門ってまだやってるの。獲れた魚は白子に水揚げするの？いや、富田から取りに来る。１１時頃なら見れるかも。６０年やっててよかったことは　？そりゃあ、ぜにのもうかるときや。４０ぐらいの頃が一番よかったかな。

今度、いっしょに乗せてってくれる、邪魔じゃない？暖かなったときのがええ。６月頃かな。

他にも、磯津漁協のことや鯨船のことなど断片的やけどいろいろ話しました。

港に繋がれた「良神丸」と「良栄丸」がお彼岸の陽光に照らされ、ゆったりと揺れる昼下がりのことでした。

《　連絡・情報提供先　090-4269-0965　hagi1922@tcp-ip.or.jp 磯津環境学校情報室　》